報徳@なう

昨年度の配布実績は、約50トン

3月末で初年度令和2年度の活動を終えました。コロナ禍のために生活が苦しくなった方達を支援するために働いてきました。ひとり親家庭を対象とした食品配布会を小田原市や箱根町、開成町、大井町などで 何度も行ってきました。



でも配布会がある事を知らないお母さんも多く、告知に工夫を重ねて次第に参加者も増え、今では300人以上の方が来られます。

生活が苦しくなって緊急融資を受けるために社会福祉協議会に来られる方が急増して、中にはほとんど食べていない方もいました。そのために社会福祉協議会へ食品を提供しました。

それにヒントを得て冷凍食品のストッカーを希望される社会福祉協議会や役場に貸与し、冷凍食品も準備し、乾パンやお米だけでなく、野菜や総菜の冷凍食品もお渡しできる体制を整えました。



小田原市社協で活用される
冷凍ストッカー

現在では、冷凍ストッカーは、松田町役場、山北町役場、真鶴町役場、小田原市社協、南足柄市社協、開成町社協、箱根町社協、湯河原町社協、二宮町社協に設置されています。

コロナ禍までは盛んに行われていた子ども食堂は、大半が活動を休止し、再開した所も 食事の代わりに食品を渡すところが多いです。しかし、子ども食堂を頼りにするお子さんも増えています。全国の子ども食堂へ、食品を供給する体制を整備しようとしている全国食支援活動協力会と提携して、東は平塚から、西は静岡県富士市までの地域の子ども食堂60カ所への食品配布を始めました。

小田原を中心とした地域活動以外に、外国人の方も援けています。大量の提供があって、小田原周辺では配り切れない事がしばしば発生します。提供の申し出があると、地元で配り切れる分と外国人団体に渡す分を計算します。また、食品によっては、日本人の好みに合わないけれど、外国人の方なら喜んでもらっていただける物も結構多いのです。

このような様々な活動を通じて、昨年度は49・5トンの食品を配る事ができました。

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金をとりまとめている社会福祉法人中央共同募金会からいただいた助成金が、おおいに役立ちました。総額290万円でした。

パネル式大型冷凍庫、容量500ℓの冷凍ストッカー、軽トラックなどを購入する事が出来ました。さらに、冷凍食品も30万円分購入しお配りした家庭に喜んでいただけました。

赤い羽根中央募金会に感謝しています。



子ども食堂にお米とお菓子を配布

4月下旬に、小田原市を中心とした西湘地域31カ所の子ども食堂に来る子供達1300人にお米2kgとお菓子を配りました。その経費は、生活が苦しい家庭の子ども達を支援する財団の助成金で賄いました。3月末までに弁当を配る企画だったのですが、コロナ禍で活動している子ども食堂が少なくて実施できず、食品を渡す事にしました。



子どもの日を前に発送
される大量のお菓子

丁度活動を再開しようとしている子ども食堂もあり大歓迎されました。感謝のメッセージもいただきました。

募集

当センターは、少数精鋭？でやりくりしていますが、さらにご支援をいただく会員・ボランティアを募集しています。
下記の所にお問い合わせください。

報徳食品支援センター　〒250-0212 小田原市西大友 136－1　℡090-3107-6477